



プレスリリース

一般社団法人日本原子力学会

日本原子力学会は、社会的関心の高い科学技術である原子力の広範囲にわたる **学術・技術専門家集団として社会への情報提供を行うため、随時プレスリリースを行っています。**
今回は、核兵器廃絶に向けてです。

核兵器廃絶に向けて(声明)

日本原子力学会 理事会

日本原子力学会(以下「本会」という)は、公衆の安全をすべてに優先させて、原子力および放射線の平和利用に関する学術および技術の進歩をはかり、その成果の活用と普及を進め、もって環境の保全と社会の発展に寄与することを目的に活動しています。

原子力を軍事利用する核兵器は、大規模破壊・大量殺戮を目的としたもので、原子力の平和利用の対極にあり、上記本会の目的と相容れないものです。

本会は、ロシアによるウクライナへの侵攻において、国連常任理事国であり主要な核兵器保有国の一つが核兵器使用の可能性を示唆するなど、核兵器使用のリスクが顕在化しかねない現状に強い懸念を抱いています。

現在、地球上に存在する核弾頭の数、12,000 を超えると推定され、これらの使用は、使用によって引き起こされる破局的なリスクを認識し、厳格な運用・管理体制が取られ抑制されていますが、リーダーの暴走、政治的力の均衡の崩れ、人為的なミスなど意図せぬ核兵器の使用に結びつくリスクが考えられます。これまでは、幸運によりリスクの顕在化が避けられてきたとの指摘もあるように、破局的なリスクを最小化しようとする視点からは、脆弱な面が否定できません。

一方、唯一の戦争被爆国である我が国の日本原水爆被害者団体協議会が昨年ノーベル平和賞を受賞するなど、核兵器のない世界を希求する機運が国際的にも高まっていると考えられます。

本会は、このような国際的な関心の高まりを歓迎し、我が国唯一の原子力の平和利用を目指す総合的な学会として、核兵器のない世界を目指す国際社会の思いと核兵器の持つ破局的なリスクについての認識を広く共有し、核兵器のない世界を目指して歩んでいきます。

そのために、本会は、日本の原子力研究者・技術者が、核兵器の研究・開発等に関わるべきではないことを引き続き呼びかけるとともに、世界各国の原子力研究者・技術者に対しても、核兵器廃絶に向けて共に努力を続けることを呼び掛けて参ります。

本会は、原子力の安全性向上と原子力科学技術の幅広い活用に関して、引き続き専門家として独立の立場から学術、技術の発展に取組み、成果を提供することで社会に貢献していく所存です。

以上